

# 令和4年度事業計画

一般社団法人 滋賀県造林公社

## 1 基本方針

令和4年度は、「第3期中期経営改善計画（令和3年度～令和7年度）」の目標達成に向けて各事業に取り組む。

森林整備については、公益的機能の持続的発揮のため、事業地の状況に応じた効率的な保育施業等を実施するとともに、作業道等の整備を推進していく。木材の生産および販売については、年間を通じて安定的な木材生産を行うとともに収益性の高い木材販売に努める。

分収造林契約の変更については、計画期間内に契約期限を迎える契約や伐期の近づいた契約に対し、集中的かつ効果的に交渉を行うことで更改する。また、解約についても環境林整備等の実施に伴い公益的機能を一定確保したうえで同意を得るよう努める。

「中期経営改善計画」の進行管理については、引き続き、外部有識者による経営評価委員会の意見を踏まえ、前年度の事業実施状況等について自己評価を実施し、事業内容や実施方法の改善等を行う。

これらの取組により、健全な経営の確保を図り、琵琶湖と淀川を守りつつ地域の木材生産の核となる公社林づくりを推進する。

## 2 事業計画

### (1) 森林整備

#### ア 分収造林事業

事業別	計画数量	備考
保育事業 間伐 枝打 病虫害獣防除 環境林整備	100.00ha 10.00ha 110.00ha 140.00ha	クマ、シカの獣害対策
施設事業 Ⅱ作業道開設 Ⅱ作業道拡幅・補修 Ⅲ作業道開設・補修	20,000m 200m 300m	幅員1.8m～2.5mの作業道 幅員1.8m～2.5mの作業道 幅員2.5m～3.0mの作業道

### (2) 木材の生産および販売

#### ア 木材の生産

#### (ア) 分収造林事業

事業地名	伐採面積	木材生産量	伐採収益	備考
途中（花折）				令和3年度から継続
高野（堂ノ後）				令和3年度から継続
荒張（大谷）				
坊村（鎌倉）				

事業地名	伐採面積	木材生産量	伐採収益	備考
菅並（洞寿院）	44.00ha	9,300m <sup>3</sup>	43百万円	
枝折（萩ノ尾）				
畑（越見坂）				
途中谷（ソバ谷）				
在原（東峠）				
保坂（雨谷）				
高野（堂ノ後）				
杠葉尾（仙香）				
君ヶ畑（ヨロイ谷）				
宮町（鍋谷）				
朝宮（平尾）				
神山（嶽側）				
杉谷（岩尾2）				

(i) 分収育林事業

事業地名	伐採面積	木材生産量	伐採収益	備考
永源寺溪流の森	2.00ha	174m <sup>3</sup>	1百万円	令和3年度から継続
岩尾の森	4.00ha	203m <sup>3</sup>	2百万円	

イ 木材の販売

滋賀県木材流通センターと連携し、年間を通じて安定的に木材生産が可能な強みを活かした価格交渉によって、より有利な販売先の確保に努める。輸出についても、積極的に情報収集を行い、収益性に応じて販売先に加える。

滋賀県や市町と連携し、県産材利用住宅や公共施設をはじめとした非住宅建築物の木造化・木質化等に向けてびわ湖材の安定した供給に努める。

適正な木材の造材・仕分けにより需要に応じた木材生産に努め、中間土場（山土場）から販売先への直送により物流コストの削減を図り、より収益性の高い販売に努める。

林地残材を含めたC材についても、木質バイオマスエネルギー等としての活用のため積極的に供給する。林業事業体等が計画的に事業へ参画できるよう木材生産情報等を早期に提供する。

(3) 財務状況の改善

ア 分収造林契約の変更・解約

分収割合の変更、契約期間の延長に係る契約変更については、令和3年度から令和7年度に契約期限を迎える事業地とその契約者が他に所有する事業地に対し集中的に交渉を進めるとともに、伐採事業地に近接す

る契約者との交渉も可能な限り行う。

不採算林の解約についても、令和3年度から令和7年度に契約期限を迎える事業地の契約者に対し集中的に交渉を進めるとともに、公益的機能を一定確保する必要があるものについては環境林整備を実施する。

#### イ 受託事業等

事業名	受託先	事業内容
関西電力送電線下巡視路保守工事	山本電工株式会社ほか5社	巡視路等除草
中部電力鉄塔敷巡視路除草業務	株式会社シーテック	巡視路等除草
分収林施業転換推進業務	分収林施業転換促進滋賀県協議会	分収造林契約の解約および変更の推進活動等
木質バイオマス地域循環促進事業	滋賀県	搬出間伐施業後の木質バイオマスの資源量および搬出効率の調査・分析

#### (4) 組織体制の改善

##### ア 人材の育成・確保

業務の効率化を推進するため、ICT分野に精通した人材の育成に努める。また、木材の生産や販売に向けて必要な知識・技術を習得するための研修等を実施し、人材育成を図る。

#### (5) 林業労働力対策事業

事業名	受託先	事業内容
林業労働力・担い手確保事業	滋賀県	相談指導業務、雇用情報収集・提供、コンサルタントによる相談、林業体験講習の実施
緑の雇用新規就業者育成推進事業	全国森林組合連合会	森林の仕事ガイダンスの開催
緑の雇用担い手対策事業	滋賀県森林組合連合会	林業事業体に対する監督・検査
森林組合人材育成事業	滋賀県	森林組合の森林施業プランナー等の資質の向上を目的とした研修等の実施
林業労働力対策事業	—	林業労働力育成協議会の開催、全国支援センターへの参加等
林業就業促進資金貸付事業	—	新たに林業に就業する者等に対する林業就業促進資金の貸付

#### (6) その他経営の改善

##### ア 水源かん養をはじめとした公社林の多面的な価値および経営状況の発信

公社林における琵琶湖・淀川の水源かん養をはじめとした公益的機能の価値、森林整備や経営の状況等について、公社ホームページ等を通じ、土地所有者や社員、滋賀県をはじめとする琵琶湖・淀川流域の住民、企業等に対して情報の提供・発信を行う。

イ 地球温暖化防止に向けた取組の推進

滋賀県森林CO<sub>2</sub>吸収量認証については、保育間伐や1回目の伐採が終了した事業地を対象に認証を取得し、公社林の貢献度の見える化を図る。

項 目	目 標
公 社 林 に お け る C O <sub>2</sub> 吸 収 認 証 量	750t-CO <sub>2</sub>

ウ 企業と連携した森林づくり等の促進

企業の森（琵琶湖森林づくりパートナー協定）制度の活用により、企業等と連携した森林づくりを進める。  
また、公社林の環境への貢献として、脱炭素に取り組む企業との連携を進めるため、J-クレジットの認証・発行に向けて取り組む。

項 目	目 標
企 業 等 と 連 携 し た 森 林 づ く り の 取 組 数	4 件
J - ク レ ジ ッ ト 認 証 量	300t-CO <sub>2</sub>

エ 経営計画の進行管理

令和3年度の事業計画に対する実施状況等について、経営評価委員会の意見を踏まえて自己評価を行い、事業内容や実施方法の改善等を行う。

オ 関係者への支援要請と連携

保育事業、伐採事業等を計画的に推進していくため、滋賀県等に対し支援・協力の要請を行うとともに、森林組合をはじめとした林業事業者等との連携を進める。

# 収 支 予 算 書

自 令和 4 年 4 月 1 日  
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	16	16	-	
事業収益	124,732	73,761	50,971	
受取補助金等	218,402	187,926	30,476	
受取出資金益	210,625	205,963	4,662	
雑収益	1	1	-	
経常収益計	553,776	467,667	86,109	
(2) 経常費用				
事業費	566,304	498,563	67,741	
管理費	21,021	20,292	729	
経常費用計	587,325	518,855	68,470	
(うち人件費)	157,569	153,632	3,937	
森林資産勘定振替前当期経常増減額	△ 33,549	△ 51,188	17,639	
森林資産勘定振替額	2,815	4,716	△ 1,901	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 30,734	△ 46,472	15,738	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	△ 30,734	△ 46,472	15,738	
当期一般正味財産増減額	△ 30,734	△ 46,472	15,738	
一般正味財産期首残高	77,349	54,276	23,073	
一般正味財産期末残高	46,615	7,804	38,811	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	-	-	-	
指定正味財産期首残高	10,000	10,000	-	
指定正味財産期末残高	10,000	10,000	-	
<b>III 正味財産期末残高</b>	56,615	17,804	38,811	

# 令和3年度事業報告

一般社団法人 滋賀県造林公社

## 1 事業概要

「第3期中期経営改善計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき各事業に取り組んだ。

分収造林事業については、伐期に達した森林から伐採に着手するとともに、引き続き既植栽地の保育管理に努めた。事業の実施に当たっては、公社林の公益的機能の持続的発揮に十分配慮した森林整備を行うとともに、収益性の高い木材の生産と販売を推進した。

また、分収造林契約の変更および解約については、森林の採算性判定・区分結果に基づき、土地所有者の方々に対する説明、協議を一層進めた。

## 2 事業実績

### (1) 森林整備

#### ア 分収造林事業

事業別		計画	実績	備考
保育事業	間伐	100.00ha	112.29ha	
	枝打	10.00ha	13.03ha	
	病虫害獣防除	100.00ha	104.62ha	
	環境林整備	100.00ha	60.39ha	
	事業地林分調査	一式	一式	
施設事業	Ⅱ作業道開設	19,000m	22,579m	
	Ⅱ作業道拡張・補修	200m	568m	
	Ⅲ作業道開設・補修	300m	883m	

### (2) 木材の生産および販売

#### ア 木材の生産

##### (ア) 分収造林事業

事業地名	計画			実績			備考
	伐採面積	木材生産量	伐採収益	伐採面積	木材生産量	伐採収益	
途中 (花折)				0.55ha	51.7m <sup>3</sup>	684,533円	次年度継続 次年度販売分79.1m <sup>3</sup> を除く
鍛冶屋 (峯上谷1)				2.20ha	602.9m <sup>3</sup>	5,336,262円	
鍛冶屋 (峯上谷2)				0.49ha	135.0m <sup>3</sup>	1,195,270円	
郷野 (アセヒ)				1.86ha	446.6m <sup>3</sup>	4,315,079円	

事業地名	計 画			実 績			備 考
	伐採面積	木材生産量	伐採収益	伐採面積	木材生産量	伐採収益	
古 川 (大彦谷1)	42.00ha	7,100.0m <sup>3</sup>	22,000,000円	2.91ha	831.7m <sup>3</sup>	1,922,411円	
在 原 (セ戸)				3.27ha	841.6m <sup>3</sup>	2,747,993円	
上 開 田 ( 峠 )				3.08ha	803.3m <sup>3</sup>	4,289,218円	
高 野 (堂ノ後)				2.69ha	384.0m <sup>3</sup>	2,671,762円	次年度継続
杠 葉 尾 ( 仙 香 )				2.54ha	435.5m <sup>3</sup>	3,060,642円	
黄 瀬 (角子1)				1.76ha	352.8m <sup>3</sup>	5,017,226円	
牧 (糠流谷)				7.01ha	1,241.4m <sup>3</sup>	13,656,799円	
杉 谷 (岩尾1)				3.38ha	570.1m <sup>3</sup>	6,841,711円	
勅 旨 (石川谷)				4.33ha	890.6m <sup>3</sup>	11,413,208円	

(イ) 分収育林事業

事業地名	計 画			実 績			備 考
	伐採面積	木材生産量	伐採収益	伐採面積	木材生産量	伐採収益	
永源寺溪流 の森	4.00ha	364.0m <sup>3</sup>	1,000,000円	2.06ha	192.7m <sup>3</sup>	2,334,383円	次年度継続

イ 木材の販売

滋賀県木材流通センターと連携し、年間を通じて安定的に木材生産が可能な強みを活かした価格交渉によって、より有利な販売先の確保に努めた。また、適正な木材の造材・仕分けにより需要に応じた木材生産に努め、土場から販売先への直送により物流コストの縮減を図り、より収益性の高い販売に努めた。さらに、地域の木材需要に対応するため、県内の木材市場や製材所にも公社材を積極的に供給するとともに、根曲がり材、獣害被害木についても木質バイオマスエネルギーとしての活用を促進するため積極的に販売し、伐採収益の向上に努めた。

(3) 財務状況の改善

ア 分収造林契約の変更・解約

区 分	令和3年度末変更・解約面積
分収割合の変更に係る分収造林契約の変更	314ha
不採算林に係る分収造林契約の解約	413ha
契約期間の延長に係る分収造林契約の変更	245ha

イ 受託事業等

事業名	受託先	事業内容		
		地先	内容	数量
関西電力送電線下 巡視路保守工事	山本電工株式会社ほか5社	高島市、長浜市ほか	巡視路等除草	一式
中部電力鉄塔敷 巡視路除草業務	株式会社シーテック	東近江市、日野町	巡視路等除草	一式
分収林施業 転換推進業務	分収林施業転換促進 滋賀県協議会	県内一円	分収造林契約の解約および変更の推進活動	一式

(4) 組織体制の改善

ア 人材の育成・確保

林業労働力確保支援センター主催のGIS研修に職員を派遣し、ICT分野に精通した人材の育成に努めた。また、選木研修や県内木材市場における競り状況の視察研修、県外合板工場や原木輸出状況の視察研修を通じて、職員の技術習得や情報収集に努めた。さらに、木材生産販売に必要な知識や技術の伝承を目的とした研修を実施し、職員の育成に努めた。

このほか、今後の木材生産に必要な架線系搬出技術について、県内外の研修会に参加し情報収集や知識の習得に努めた。

(5) 林業労働力対策事業

事業名	受託先	計画	実績
林業労働力・担い手確保事業	滋賀県	相談指導業務、雇用情報収集・提供、コンサルタントによる相談、林業への円滑な就労促進を図るための林業就業体験講習の実施	相談指導業務（相談人数23人、指導23回）、雇用情報収集・提供（ホームページ掲載）、コンサルタントによる相談（5回）、林業就業体験講習（1回）
緑の雇用新規就業者育成推進事業	全国森林組合連合会	森林の仕事ガイダンス（エリア開催）の開催	森林の仕事ガイダンスの開催（1回）
緑の雇用担い手対策事業	滋賀県森林組合連合会	林業事業体に対する監督・検査	林業事業体に対する監督・検査（9回）



事業名	受託先	計画	実績
森林組合人材育成事業	滋賀県	森林組合の森林施業プランナーの資質の向上を目的とした研修等の実施	林業事業体の人材を育成するための研修（14回）
林業労働力対策事業	—	林業労働力育成協議会の開催、全国支援センターへの参加	林業労働力育成協議会の開催（1回）、全国支援センターへの参加
林業就業促進資金貸付事業	—	新たに林業に就業する者等に対する林業就業促進資金の貸付	貸付件数 0件

#### (6) その他経営の改善

##### ア 水源かん養をはじめとした公社林の多面的な価値および経営状況の発信

公社ホームページで、公社の設立からの経過、公社の役割と今後の運営、中長期経営計画と経営評価、事業計画・予算、事業報告・財務諸表・債務残高等の公社概要をはじめ、入札情報、木材生産販売情報、J-クレジットの保有・販売状況、琵琶湖森林づくりパートナー協定、木材利用協定等の情報を積極的に更新し、公社林の持つ多面的価値や経営状況を発信した。

##### イ 地球温暖化防止に向けた取組の推進

滋賀県森林CO<sub>2</sub>吸収量認証制度に基づき、令和2年度に実施した主伐に対し292.16t-CO<sub>2</sub>の認証を受けた。

##### ウ 企業と連携した森林づくり等の促進

新たにダイダシ株式会社大阪本社と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、今後5年間協働で森林づくりを進めることとなった。また、既に同協定を締結している一般社団法人滋賀県トラック協会と森林保全活動を実施した。

J-クレジットでは、312t-CO<sub>2</sub>の認証を受けるとともに、4者に対し計130t-CO<sub>2</sub>の販売を行った。また、新たに滋賀県信用保証協会、株式会社滋賀銀行、株式会社スムーズ、株式会社木下カンセーと「びわ湖カーボンプレジット」パートナー協定を締結し、今後3～10年間にわたりクレジットを販売することとなった。

##### エ 経営計画の進行管理

外部有識者による経営評価委員会を設置し、令和2年度事業の経営評価を行った。また、令和2年度が第2期中期経営改善計画の終了年度であることから、第2期中期経営改善計画全体の経営評価も行った。

##### オ 関係者への支援要請と連携

公社経営基盤の安定化を図るため、関係機関を通じて国に対する要望を実施するとともに、森林整備や木材の生産販売を計画的に推進できるよう滋賀県に対し要望書を提出し、意見交換を実施した。

また、公社単独で森林経営計画の樹立が困難な7事業地のうち、2事業地で共同計画を樹立し、5事業地で長期施業委託を行い、林業事業体との連携を進めた。

# 正味財産増減計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	3,342	16,179	△ 12,837
事業収益	107,917,124	104,513,731	3,403,393
受取補助金等	77,248,249	128,602,520	△ 51,354,271
受取出資金	205,963,000	221,304,000	△ 15,341,000
受取寄付金	800,000	800,000	-
雑収益	12,582	798,749	△ 786,167
経常収益計	391,944,297	456,035,179	△ 64,090,882
(2) 経常費用			
事業費用	363,336,191	462,192,320	△ 98,856,129
管理費用	19,830,113	19,265,515	564,598
経常費用計	383,166,304	481,457,835	△ 98,291,531
(うち人件費)	151,518,944	146,473,582	5,045,362
森林資産勘定振替前当期経常増減額	8,777,993	△ 25,422,656	34,200,649
森林資産勘定振替額	12,158,183	10,336,213	1,821,970
評価損益等調整前当期経常増減額	20,936,176	△ 15,086,443	36,022,619
評価損益等計	-	-	-
当期経常増減額	20,936,176	△ 15,086,443	36,022,619
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	-	-	-
(2) 経常外費用			
車両運搬具除却損	1	-	1
販売用森林資産評価損	588,717	-	588,717
経常外費用計	588,718	-	588,718
当期経常外増減額	△ 588,718	-	△ 588,718
当期一般正味財産増減額	20,347,458	△ 15,086,443	35,433,901
一般正味財産期首残高	60,968,725	76,055,168	△ 15,086,443
一般正味財産期末残高	81,316,183	60,968,725	20,347,458
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
指定正味財産運用益	170	847	△ 677
一般正味財産への振替額	△ 170	△ 847	677
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	-
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	-
<b>III 正味財産期末残高</b>	91,316,183	70,968,725	20,347,458

# 貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	230,263,585	201,759,931	28,503,654
未収金	45,762,412	41,517,538	4,244,874
販売用森林資産	6,255,323	—	6,255,323
立替金	△ 6,575	5,128	△ 11,703
流動資産合計	282,274,745	243,282,597	38,992,148
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	2,673,194	2,673,194	—
入社預り金引当資産	11,600,000	11,600,000	—
公社運営費填補積立資産	10,000,000	10,000,000	—
森林損害填補積立資産	119,846,753	119,105,497	741,256
借入金償還積立資産	39,446,097	39,159,426	286,671
森林づくり積立資産	39,700	21,800	17,900
吸収源整備促進積立資産	1,390,000	10,000	1,380,000
分収育林前受資産	2,101,071	2,101,035	36
育林前受引当資産	18,321,319	18,321,010	309
林業就業促進資金積立資産	213,018	400,511	△ 187,493
特定資産合計	205,631,152	203,392,473	2,238,679
(2) その他固定資産			
分収造林森林勘定	78,896,283,706	80,508,591,002	△ 1,612,307,296
分収育林立木勘定	17,029,031	19,460,012	△ 2,430,981
分収育林樹木勘定	87,294,154	87,294,154	—
車両運搬具	3	4	△ 1
什器備品	219,902	363,182	△ 143,280
ソフトウェア	102,960	215,280	△ 112,320
電話加入権	159,200	159,200	—
その他固定資産合計	79,001,088,956	80,616,082,834	△ 1,614,993,878
固定資産合計	79,206,720,108	80,819,475,307	△ 1,612,755,199
資産合計	79,488,994,853	81,062,757,904	△ 1,573,763,051
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	30,870,692	5,596,768	25,273,924
預り金	702,480	645,861	56,619
賞与引当金	10,627,000	9,554,000	1,073,000
次期返済予定林業就業促進資金借入金	187,500	187,500	—
流動負債合計	42,387,672	15,984,129	26,403,543
2 固定負債			
退職給付引当金	6,168,800	3,908,017	2,260,783
入社預り金	11,600,000	11,600,000	—
社員借入金	18,548,120,037	18,612,112,446	△ 63,992,409
分収造林事業損失引当金	60,667,476,362	62,224,421,623	△ 1,556,945,261
分収育林事業損失引当金	11,684,042	13,334,023	△ 1,649,981
分収育林前受金	4,600,766	4,600,766	—
育林前受金	16,881,495	16,881,186	309
預り分収育林樹木勘定	87,294,154	87,294,154	—
預り分収交付金	1,439,824	1,439,824	—
林業就業促進資金借入金	—	187,500	△ 187,500
林業就業促進資金繰越準備金	25,518	25,511	7

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
固 定 負 債 合 計	79,355,290,998	80,975,805,050	△ 1,620,514,052
負 債 合 計	79,397,678,670	80,991,789,179	△ 1,594,110,509
<b>Ⅲ 正味財産の部</b>			
1 指 定 正 味 財 産			
公社運営費填補積立資産	10,000,000	10,000,000	—
指 定 正 味 財 産 合 計	10,000,000	10,000,000	—
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(—)
2 一 般 正 味 財 産			
(うち特定資産への充当額)	81,316,183	60,968,725	20,347,458
(うち特定資産への充当額)	(121,276,453)	(119,137,297)	(2,139,156)
正 味 財 産 合 計	91,316,183	70,968,725	20,347,458
負債及び正味財産合計	79,488,994,853	81,062,757,904	△ 1,573,763,051